

NO. 5 事業名 ため池等整備事業（国補）

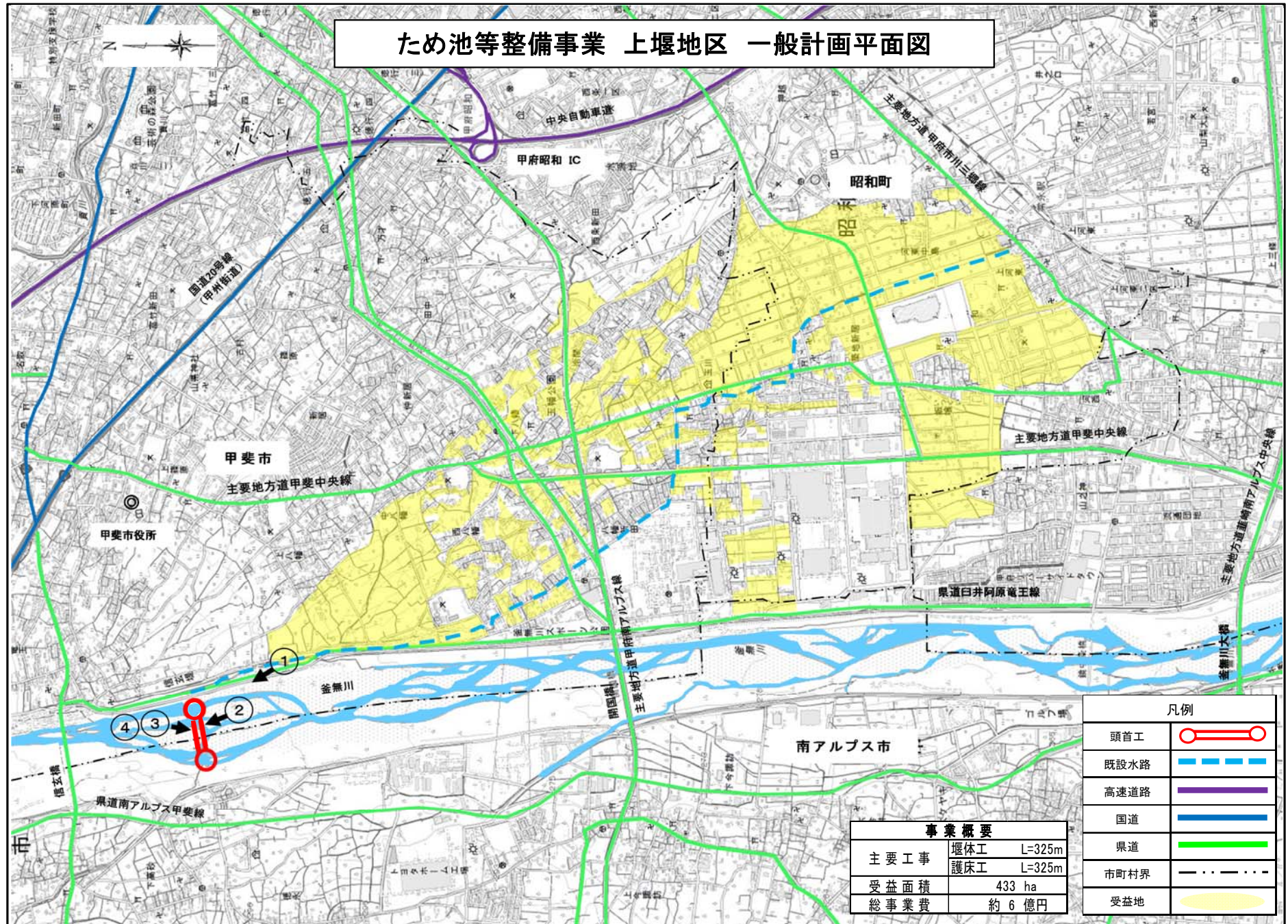
箇所・地区名 うわ 上 せき 堰

1. 事業評価説明シート

(区分) **国補**・県単

事業名	ため池等整備事業(国補)	事業箇所	甲斐市竜王	地区名		事業主体	山梨県												
<p><b>(1) 事業概要</b></p> <p><b>①課題・背景</b>                      上堰頭首工は釜無川左岸に広がる水田地帯に安定した農業用水を供給する農業水利施設として昭和52年に築造された。                      しかしながら、長年の豪雨による水流等により固定堰の損傷は著しく、安定した取水が困難な状態にある。また、平成25年の台風に伴う豪雨により固定堰が破損するなど、河川構造物としても不安定な施設となっていることから、河川管理者である国土交通省から改修の指示が出されている状況にある。                      このことから、施設の改修を行うことで農業用水の安定供給と共に、治水機能の改善を図り、洪水等による災害を未然に防止するものである。</p> <p><b>②整備目標・効果</b></p> <p><b>□主要目標</b> ○農業用排水能力の向上                      ・施設老朽度  <math>0 \leq 0</math>年※                      ・用水能力向上率(計画用水能力)÷(現況用水能力)  <math>2.05\text{m}^3/\text{s} \div 2.05\text{m}^3/\text{s} = 1.0 \geq 1.0</math>※</p> <p><b>□副次目標</b> ○農業生産力の向上                      ・農業所得増加額 <math>752\text{千円}/\text{ha} \geq 703\text{千円}/\text{ha}</math>以上※                      (※評価基準値)</p> <p><b>□副次効果</b> ○農地の保全                      ○既存施設の崩壊危険性の排除                      ○重要プロジェクトとしての位置づけ                      (新・やまなし農業施策大綱)</p>				<p><b>(3) 事業の妥当性評価</b> <span style="float:right">妥当・妥当でない</span></p> <p><b>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>                      ・本地区は食料・農業・農村基本法に位置づけられている農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資することから行政が行うべきである。</p> <p><b>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>                      ・農村地域防災減災事業(農業用河川工作物等応急対策事業) 実施要領別紙7第4の1の(1)により県が事業主体となって行うべきものである。</p> <p><b>③経済妥当性</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>                      費用便益費 便益(B)/費用(C)=3.15&gt;1.0                      ・便益(B)=5,070百万円、・費用(C)=1,609百万円</p> <p><b>④事業実施・規模の妥当性</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>                      ・河川管理者との協議に基づき、頭首工の取水機能の確保と治水機能の改善を図る上で、必要な整備量としている。</p> <p><b>⑤整備手法の有効性</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>                      ・農業用河川工作物(頭首工)の施設補強を行う事業であることから、農村地域防災減災事業(農業用河川工作物等応急対策事業)で対応することが妥当である。</p> <p><b>⑥環境負荷への配慮</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>                      ・工事の際は、河川流下の阻害を防止するため、施工上3回の仮締切を行い、環境への影響を最小限にするよう措置を講じる。</p> <p><b>⑦事業計画の熟度</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>                      ・早期着工の要望有り</p> <p style="text-align: center;"><b>総合評価</b> <span style="float:right">[貢献度ランク: a]</span> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p><b>【事業位置図等】</b></p>															
<p><b>(2) 整備内容と整備量</b></p> <p><b>①整備内容</b>                      ・堰体工 L=325m                      ・護床工 L=325m</p> <p><b>②整備期間</b> 平成28年度～平成31年度</p> <p><b>③総事業費</b> 約6億円                      (国費3.3億円(5.5/10) 県費2.22億円(3.7/10) 市費0.48億円(0.8/10))</p> <p><b>④全体計画</b> (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>平成28年度</td> <td>測量、設計</td> <td>20百万円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>堰体工、護床工</td> <td>200百万円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>堰体工、護床工</td> <td>190百万円</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>堰体工、護床工</td> <td>190百万円</td> </tr> </table> <p><b>⑤既整備内容・期間・事業費</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名 昭和49年度災害復旧事業(竜王地区)</li> <li>・整備内容 固定堰 L=411.21m</li> <li>・整備期間 昭和49年度～昭和52年度</li> <li>・総事業費 約3億円</li> </ul>				平成28年度	測量、設計	20百万円	平成29年度	堰体工、護床工	200百万円	平成30年度	堰体工、護床工	190百万円	平成31年度	堰体工、護床工	190百万円				
平成28年度	測量、設計	20百万円																	
平成29年度	堰体工、護床工	200百万円																	
平成30年度	堰体工、護床工	190百万円																	
平成31年度	堰体工、護床工	190百万円																	

2. 添付資料シート(1)



## 2. 添付資料シート（2）



①上堰頭首工の全景。



②豪雨(H25台風18号及び27号)時の水流により、固定堰の一部が破損した。(現在は仮復旧済)



④豪雨時の水流等により堰の表面部が摩耗し鉄筋が露出しており、護床工は大きく削られ変形している。

### 計画構造図

